

# ボールの特性レポート

## BALL REPORT



ボール名	サイド・スワイプ	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.500	△RG	0.041	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

**テストボール：サイド・スワイプ**

フレアーの幅  インチ

表面加工

- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

PAPからピンとの距離  インチ

研磨剤  番

**比較対照ボール：デリリアム**

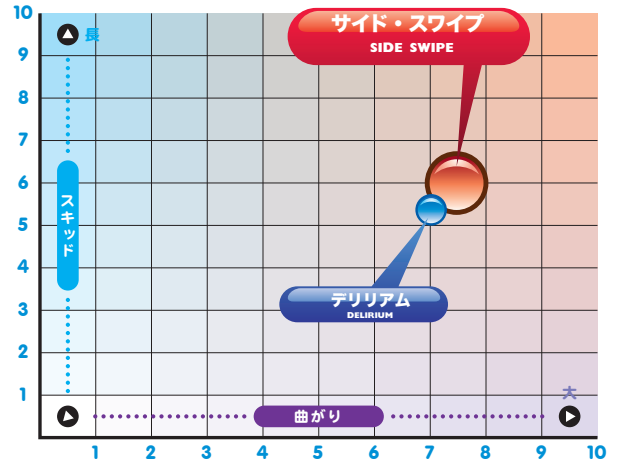
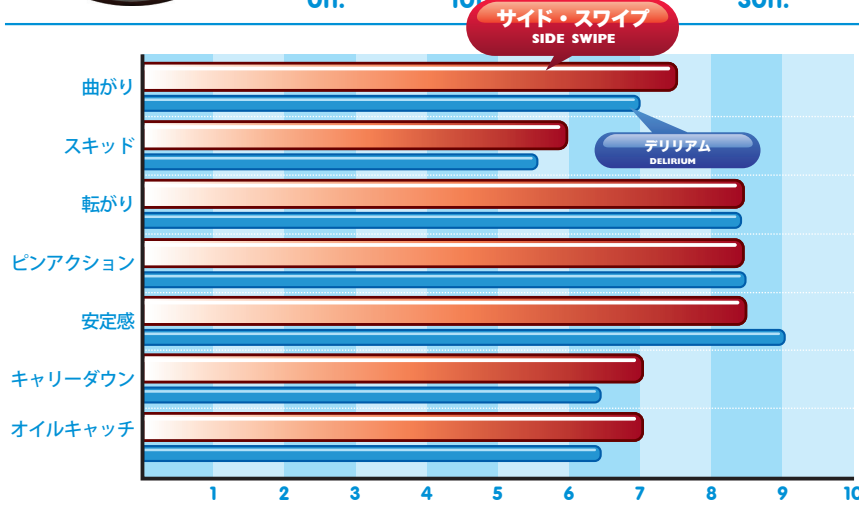
フレアーの幅  インチ

表面加工

- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

PAPからピンとの距離  インチ

研磨剤  番



### ボールの評価

COLUMBIA社のYellow Lineと聞けばDELIRIUMと言えるぐらい、DELIRIUMのリサージェンスCoreとBend-it Pearl Coverstockの組み合わせは、MediumからMedium Lightのコンディションでこのボール以上の選択肢が見つからないほどReactionからピンアクションまで非常にレベルの高い、バランスの取れたボールでした。今回このYellow Lineに新たに位置づけられたボールは、Side Swipeと名付けられた新開発のCoreTechnologyと、そのCoreにMediumクラスで実績と信頼性の高いBend-it Pearl Coverstockを搭載しました。

このSide Swipeを初めてテストングした時、さまざまなボールとともに検証しました。HP(High Performance)やUMP(Upper Mid Performance)と一緒に検証を行ったので、同じラインを描こうとしたときに非常に不安定な感じがしました。しかし同じPerformance領域でボールを集め検証を行ったとき、他社メーカーを含めどのボールよりもこのボールが群を抜いていました。MP(Mid Performance)領域であるために、HPやUMPとの比較はSide Swipeにはミスマッチだったのです。Side Swipeが使える領域に入ってしまうと、ボールの曲がり始めのMid Laneでの抜群の安定感と曲がり始めのプレーキぐらいが絶妙としか表現できないほど優れているのがわかります。こういうボールを一つバッグに入れておくと中盤から後半にかけてスコアメイクはもちろんのこと、爆発的な点数を望める気配も十分感じて頂けるはず。Mid Laneから安定して動き始めてもピンヒットまで衰えない角度が取れるのも新しいCoreTechnologyが活かされているからでしょう。DELIRIUMがなくなった今、このクラス最高峰はこのSide Swipeが継承します。

### 特記事項

**Mediumクラスで実績と定評のあるBend-it Pearl Coverstockと新開発Side Swipe Coreとの組み合わせで、DELIRIUMとはまた違うPerformanceでクラス最高峰に挑みます。**